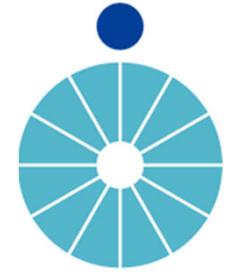




富山・金沢  
教育大臣会合  
G7 EDUCATION MINISTERS' MEETING  
IN TOYAMA AND KANAZAWA

# G7 富山・金沢教育大臣会合 概要とフォト

(2023年5月12-15日)



文部科学省  
MEXT  
MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



G7 EDUCATION MINISTERS' MEETING IN TOYAMA AND KANAZAWA

2023 5/12 - 5/15



# 各国代表一覧

カナダ		ティナ・ナミエスニオウスキ 雇用・社会開発省上級副次官 【5/12-14】	英国		ジリアン・キーガン 教育大臣 【5/13-14】
		ウェイン・エワスコ マニトバ州教育・幼児教育大臣 【5/12-15】		米国	
フランス		パップ・エンディアイ 国民教育・青少年大臣 【5/12-14】	EU		
ドイツ		ベッティナー・シュタルク=ヴァッ ツィンガー 教育・研究大臣 【5/13-14】	OECD		武内 良樹 事務次長 【5/13-15】
		クリスティーネ・シュトライヒャート=ク リヴォー ザールラント州教育文化大臣 【5/12-15】	UNESCO		ステファニア・ジャンニーニ 事務局長補 【5/13-14】
イタリア		ジュゼッペ・ヴァルディターラ 教育・功績大臣 【5/12-14】	日本		永岡 桂子 文部科学大臣 【5/12-15】

※括弧内日付は会議出席日程

# G7 教育大臣会合概要

- G7 教育大臣会合が、令和5年5月12日～15日に富山県富山市・石川県金沢市において開催されました。
- 大臣会合では、永岡文部科学大臣が議長となり、「コロナの影響を踏まえた今後の教育のあり方」を全体テーマとして議論を行いました。
- 会合の成果文書として「富山・金沢宣言」を採択しました。



# 大臣会合セッション①

- 「コロナの影響を踏まえた今後の教育のあり方」を全体テーマとしました。
- オープニングセッションでは、各国のコロナ禍での経験やそこから明らかになった教育の本質的価値、これからの未来を支える人材に必要な資質・能力、各国の社会・文化的背景を踏まえた子供たちのウェルビーイングの実現に向けた教育等について、各国大臣から基調発表が行われました。我が国からは調和と協調に基づく日本発のウェルビーイングの概念を提案しました。
- また、オープニングセッションでは、「ナラティブ」として大臣会合セッションで取り上げる4つのテーマに関連の深い、個人の経験・体験に基づく発表を行っていただきました。



富山県の小学校教諭

ろう学校から看護学校へ進学した  
森山 零菜さん

(株)ユーグレナ代表取締役社長の  
出雲 充さん

金沢大学修士で自然科学を専攻する  
石黒 歩さん

# 大臣会合セッション②

■ 各大臣会合セッションにおいては、以下の4つのテーマを議論しました。

## ① コロナ禍を経た学校の在り方

- ・コロナ禍を経て再認識された、学校の役割・存在意義
- ・学校教育活動の制約により失われた子供たちの成長の機会の回復
- ・今後の教育ICT環境の整備

## ② 全ての子供たちの可能性を引き出す教育の実現

- ・ウェルビーイングの向上に向けた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- ・これらを実現するにあたっての教育DXと学校の指導・運営体制

## ③ 社会課題の解決とイノベーションを結び付けて成長を生み出す人材の育成

- ・地球規模の課題や少子・高齢化などの社会課題をイノベーションを通じて解決し、経済社会を牽引する人材育成に向けた方策
- ・探究・STEAM教育、デジタル及びグリーン分野の人材育成、グローバル・コンピテンシー、多言語主義、アントレプレナーシップ教育、生涯学習の推進

## ④ コロナ禍の変化を受けた今後の教育の国際化とその役割

- ・国際交流を通じた相互理解と信頼の関係を構築する重要性の再確認
- ・国際理解を促進するための人材育成や、学習者、教師、研究者間の国際連携、協力と交流の促進を通じた、「知」のつながりを高める意義



# クロージングセッション及び共同記者会見

■クロージングセッションにおいて、「富山・金沢宣言」を採択しました。

(「富山・金沢宣言」について)

・「富山・金沢宣言」では、基本的な考え方として「教育は民主主義や自由、法の支配や平和の礎である」との価値観を改めて共有するとともに、以下の4点の方向性に合意しました。

① コロナ禍を経た学校の役割の発揮とICT環境整備

② 全ての子供たちの可能性を引き出す教育の実現

③ 社会課題の解決とイノベーションを結び付けて成長を生み出す人材の育成

④ 国際社会の連携に向け、新たな価値を創造するための国際教育交流の推進

・この他、G7間で継続的なハイレベル政策対話の実現に向けて取り組むことに合意しました。

■共同記者会見では、「富山・金沢宣言」の概要を議長である永岡大臣から説明しました。

■本宣言の内容は、G7広島首脳コミュニケにも取り入れられました。



共同記者会見の様子

# こどもサミット参加者との意見交換

- 3月に富山・石川両県の中学生・高校生がまとめた「こどもサミット宣言書」をもとに、両県の中学生の代表者10名による、こどもサミット宣言文の発表と、その内容に対する各国代表と子供たちの意見交換を実施しました。
- 大臣との質疑応答の場面では、中学生達は積極的に自らの意見を発表しました。終了後は各国代表団から大きな拍手が送られました。
- 参加した中学生からは、「海外の人と話をし、交流もしてとてもいい経験になった。これからの人生に役立てたい」等の感想が聞かれました。



中学生による「宣言書」についての発表



各国代表との記念撮影

# 富山から金沢への新幹線移動

- 会場が富山から金沢に移るにあたっては、各国代表団は北陸新幹線の臨時団体列車にて移動しました。
- 富山駅では、新田富山県知事、藤井富山市長がお見送りし、金沢駅では、馳石川県知事と村山金沢市長がお出迎えしました。



北陸新幹線車内



富山駅でのお見送り



金沢駅でのお出迎え